

## 接合金物許容耐力表

表1 Zマーク表示金物耐力表

名称	記号	短期許容耐力 (kN)			使用接合具等
		べいまつ類	ひのき類	すぎ類	
柱脚金物	PB-33	11.3	10.4	10.0	六角ボルト M12(1本)
	PB-42	22.7	20.8	20.0	六角ボルト M12(2本)
ひら金物	SM-12	1.7	1.5	1.3	太めくぎ ZN65(4本)
	SM-40	4.3	3.8	3.4	太めくぎ ZN65(12本)
ひねり金物	ST-9	1.7	1.5	1.3	太めくぎ ZN40(4本)
	ST-12	1.7	1.5	1.3	
	ST-15	2.5	2.3	2.0	太めくぎ ZN40(6本)
折り曲げ金物	SF	2.5	2.3	2.0	
くら金物	SS	5.1	4.6	4.0	
羽子板ボルト	SB・F	5.6	5.2	5.0	六角ボルト M12(1本)
	SB・F2				
	SB・E				
	SB・E2				
羽子板パイプ	SP・E	5.6	5.2	5.0	六角ボルト M12(1本)
	SP・E2				
かど金物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎ ZN65(10本)
	CP・T				
山形プレート	VP	5.0	4.5	3.9	太めくぎ ZN90(8本)
	VP2	5.1	4.6	4.0	太めくぎ ZN65(12本)
短ざく金物	S	5.6	5.2	5.0	六角ボルト M12(2本)
かね折り金物	SA				
かすがい	C-120	1.2	1.1	1.0	
	C-150				
手違いかすがい	CC-120				
	CC-150				
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルト M12(2本)又は ラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルト M12(3本)又は ラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルト M12(4本)又は ラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルト M12(5本)又は ラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎ ZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎ ZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎ ZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎ ZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎ ZN90(26本)

算出根拠は、日本建築学会発行「木質構造設計基準・同解説」による。

**表2 アンカーボルトのコンクリートの短期付着耐力表**

記号	円周の長さ	定着長さ	短期付着応力度	短期付着耐力
M12	10.7 mm×3.14	250 mm	1.4 N/mm <sup>2</sup>	11.7 KN
M16	16 mm×3.14	360 mm		25.3 KN

短期付着応力度は、建築基準法施行令第91条の規定による。定着長さには、フックは含んでいない。

**表3 接合具の耐力表**

名 称	記 号	短期許容耐力 (kN)			主な用途等
		べ ば づ 類	ひ の き 類	す ぎ 類	
太めくぎ	ZN 40	0.86	0.77	0.68	長期許容せん断耐力の値は、表値の1/2 とする。鋼板添え板のため、25%割増しによる数値とする。
	ZN 65	0.86	0.77	0.68	
	ZN 90	1.26	1.14	0.98	
スクリューくぎ	ZS 50	1.48	1.34	1.17	
角座金	W4.5×40× 14	9.60	8.32	6.40	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M12 用の座金
	W6.0×60× 14	21.60	18.72	14.40	
	W9.0×80× 18	38.40	33.28	25.60	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M16 用の座金
丸座金	RW6.0×68× 14	21.77	18.87	14.51	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M12 用の座金
	RW9.0×90× 18	38.14	33.06	25.43	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M16 用の座金
角座金	W6.0×54× 18	-	-	-	引き寄せ金物専用座金
小型角座金	W2.3×30× 12.5	-	-	-	筋かいプレート専用座金

座金のめり込み耐力の算出根拠は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、(財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」による。